

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

基本目標	05うるおいのあるまち
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02環境美化の推進
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	保健衛生の推進を図っているが、ごみ減量化や保健衛生のさらなる推進に向けた取り組みが必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健全な生活と保健衛生の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	保健衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。また、スズメバチ駆除費に対する補助を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	2,156 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,156 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	2,151 千円	2,110 千円	2,156 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>ごみ分別の徹底、ごみ減量の推進、ごみ集積場の環境衛生保持などの観点から、保健衛生協議会への補助は、今後も継続して行う必要があると考える。また、毎年スズメバチによる巣作りは多くみられ、市民ニーズが高いことから、駆除に要する費用補助を増額して実施する必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支部	地区	25	25	25
世帯数	世帯	106,451	107,637	108,688

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保健衛生推進委員研修会開催回数	回	25	25	25
スズメバチ補助件数	件	79	84	87
活動指標分析結果	広域ごみ処理施設への移行が開始され、ごみ減量への取組を引き続き進める必要があり、推進委員や地区支部での研修会等を開催した。また、市民の生活環境の安全を確保することから、スズメバチの巣の駆除に対して補助を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
地区別研修会参加者数	人	539	330	305		560
全市研修会参加者数	人	350	0	0		410
スズメバチ駆除、被害数	件	79	84	87		0
成果指標分析結果	コロナ禍による研修会等の自粛があったことで実績への影響があるが、今年度以降で計画数に近づけるよう創意工夫をしていく。					

加古川市事務事業評価シート<令和4年度実施事業>

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	05うるおいのあるまち	政策	02資源の循環と環境美化を推進する
	施策	02環境美化の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民及び加古川市保健衛生協議会	257,948 (R4. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民の健全な生活と保健衛生の推進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	保健衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。 また、スズメバチ駆除費に対する補助を行う。		

【コスト】

	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(決算見込)
事業費合計	2,100 千円	2,156 千円	2,281 千円
うち、一般財源	2,100 千円	2,156 千円	2,281 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
保健衛生推進委員研修開催数	回	25	25	25		
スズメバチ補助件数	件	84	87	111		
成果指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	目標値
地区別研修会参加者数	人	330	305	285	令和8年度	350
スズメバチ駆除件数	件	84	87	111	令和8年度	110

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和3年度評価結果 及び取組コメント	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	スズメバチ駆除費に対する補助は、広報等により啓発を行い、この事業の周知を図る。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評	保健衛生協議会は、設立当初の目的は達成されたものと考えている。ただし、住みやすい地域環境づくりを維持することは必要であり、保健衛生協議会のあり方を検討する時期に来ている。 一方、スズメバチ駆除は、温暖化の影響等により駆除件数が増加傾向にある。市民ニーズに対応するため、補助金を増額を検討する必要がある。
今後の展開	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート<令和5年度実施事業>

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	_05うるおいのあるまち	政策	_02資源の循環と環境美化を推進する
	施策	02環境美化の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員	256,483 (R5.10.1 時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民の健全な生活と保健衛生の推進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	保健衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。また、スズメバチ駆除費に対する補助を行う。		

【コスト】

	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算見込)
事業費合計	1,992 千円	2,200 千円	1,917 千円
うち、一般財源	1,992 千円	2,200 千円	1,917 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
保健衛生推進員研修会開催回数	回	25	25	25		
スズメバチ補助件数	件	87	111	77		
成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度	目標値
地区別研修会参加者数	人	305	478	528	令和8年度	530
スズメバチ駆除件数	件	87	111	77	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和4年度評価結果及び 令和5年度取組事項	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 保健衛生推進委員に対し、支部長を通じて研修への参加呼びかけを行った。 スズメバチ駆除費に対する補助は、広報等により啓発を行い、事業の周知を図った。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	害虫等の住環境における衛生問題は減少しているものの、家庭ごみの拠点回収に伴うごみ分別の徹底及びごみ集積場の環境衛生保持・機能保全是、地域の環境衛生維持のために必要不可欠であり、その推進を図っている保健衛生協議会への運営補助は継続して行う必要がある。また、協議会会員の高齢化も進んでいるため、運営が効率的に行える様に、引き続き側面的協力をしていくことが求められる。加えて、スズメバチ駆除に対する補助については、毎年の季節の状況によって発生状況が変化することから、維持しながら傾向の判断が必要となる。
今後の展開	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了